メバリング春の陣

プラッギングでGO

兵庫・林崎漁港を探索

ベランダから沖狙い何とか1匹

シンキングペンシルにヒットしたメバル17㌢

厳寒期を過ぎメバルが元気になってくる時期なので、3月14日に兵庫・明石の林崎漁港に出かけた。

まだ明るい午後5時ごろに釣り場に到着し海を見てみると、予想通り潮位が低い。これからさらに潮が引いていくのでかなり厳しそうな感じだ。

とりあえず港内を探り歩いてみることにする。当日はプラグで楽しみたかったので、小型のバイブレーションやミノー、シンキングペンシルを主体にキャスト。数投してみるが反応なし。まだ明るいのでメバルの活性が低いのは想定内。メバルの活性が上がる夜までの間にルアーをいろいろ投げて、明るいうちにルアーの動きをチェックしておく。

日が沈み暗くなってくるとようやくアタリがきた。だが掛からない。その後もメバルらしき反応はあるのだが、ヒットしない状況が続く。

メバルが小さいのかもと思い、ルアーを1㌘のジグヘッドにピンテール系のワーム1・5㌢にかえてみる。するとすぐにメバルがヒット。キャッチしたのは15㌢以下の小型のメバル。

メバルが小さいのでジグヘッドで狙ったほうが簡単に釣れそうなのだが、今回はプラグで楽しみたいのでプラグ中心にキャストを続ける。

その後もアタリはポツポツあるものの魚が掛からず、アタリがあった後にジグヘッドを投げてみるとメバルがあっさり釣れるという状況が続く。潮位が低くて厳しい状況ではあるが、メバルは元気になってきているようなので、潮位が高い時に釣行していればかなり釣れそうな感じだ。

港内はサイズが小さいので、ここでベランダに移動して良型を狙うことにする。メバルを狙う場合、数釣りを楽しみたい場合は港内の常夜灯周辺がいいが、サイズを狙うなら外向きの明かりがあまりないポイントのほうがいい。昨年の台風で壊れて直っていない所もあちこちにあるので、その場所を避けながらベランダを探り歩くことにした。

シンキングペンシルであるソアレリップレス35㌢をキャストしているとアタリ。すぐにアワせるとヒット。上がってきたのは17㌢のアベレージサイズのメバルだったが、プラグで釣れたので満足だ。

まだまだ釣り続けたかったのだが、気づけば午後9時。これからさらに潮位が下がり潮止まりの時間がどんどん近づいていたので、ここで納竿とした。

これからメバルの活性がどんどん上がってくるシーズンだ。ジグヘッドで楽しむメバルも面白いが、プラグにも好反応な時期になってきているので、皆さんもプラグでのメバリングに挑戦してみていただきたい。

当日のタックル…ロッド＝自作ライトゲーム用パックロッド6㌫1㌢、リール＝ソアレCI4＋（C2000SSPG）、ライン＝PE0・1号、リーダー＝フロロ2㌶、ルアー＝ソアレリップレス35㌢

▼交通　山陽電車・西新町駅または林崎松江海岸駅から徒歩15分ほど。

（APC・原田誠司）

林崎漁港ベランダの釣り場風景

入門者にお勧め最初のプラグ3選

ショップ店員が選ぶ

サクラの開花情報も聞かれるようになり、産卵を終えて体力を回復したメバルが活発にエサを追う季節になった。流行のプラッギングでメバルを狙うのに最適のシーズンである。

「今週のつり作戦」ではワンタックルで楽しめるメバリングとして、プラグとジグヘッドリグを取り上げたが、入門者にとってまずはどのルアーを手に入れればいいのかは悩むところだと思う。そこで、「入門者にお勧め最初のプラグ3選」を、大阪・梅田のルアー1BANスタッフ・越知健太さんに紹介してもらった。

まずは、「S.P.M75」。このルアーは75㌢という大きさで、飛距離をかせげるのが特長。より遠くのポイントを探れるのはもちろん、釣り場がテトラ帯だったり、足場が悪い場所だったりした場合には、移動距離を抑えつつ広く探れるというメリットもある。

以前は35～40㌢がメバル用ハードルアーの主流だったが、ここ2～3年大きなシルエットのルアーでも問題なく釣れるのが分かってきて、より遠くが狙えるとあって人気のルアーだ。

75㌢とかなり大きなシルエットだが、小さなメバルでも問題なくアタックしてくる。

ルアーの動きは、引いてくるときは頭を上に尻下がりで泳ぐが、止めると水平姿勢でフォールする。この特徴をいかし、たまに止めて水平フォールさせるのも効果的だ。

二つ目は「リッジ35」。このルアーにはF（フローティング）とS（シンキング）の二つのタイプがある。基本は小刻みに震えながら泳ぐミノーだが、巻くのを止めたとき、Fはゆっくり浮き上がり、Sはゆっくり沈むという違いがある。状況によって使い分けるので、どちらか一つではなく、二つをセットで運用するのがキーになる。

また、巻きだけでなく、サオで引いて泳がせ、止めて浮かせたり、沈めたりと小刻みに探ることも可能だ。

三つ目は「オルガリップレス50」。このルアーはとにかくゆっくり巻くことができるのが特徴。キャストして着水を確認したら、すぐにデッドスローで巻いてくる。一番簡単で使いやすいため、初心者に最もお勧めのルアー。

越智さん流のメバル攻略メソッドは、活性の高い個体から釣っていくというもの。そのため、ルアーローテーションは、まずはシルエットの大きいS.P.M75で活性の高いメバルから狙い、リッジ35F、リッジ35Sとローテーションしていく。それでも駄目な時はオルガリップレス50を投入するとのこと。

なお、メバルは目がよく、カラーによっても釣れる、釣れないが別れることもある。シラスやイカナゴがベイトとなるこれからの時期は、カラーはクリアベース、アミパターンではラメ入り、イカパターンではグローがそれぞれ威力を発揮するそうだ。

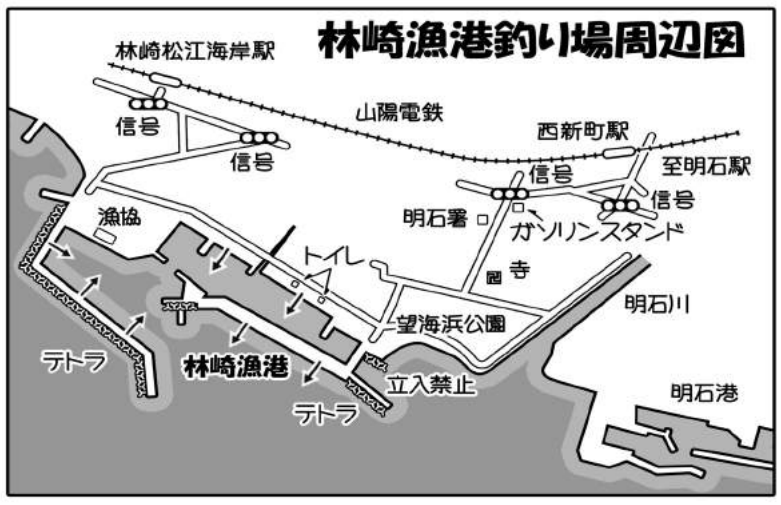
最後に、ハイシーズンには毎週メバリングを楽しむという越知さんに、初心者にお勧めの釣り場の条件を聞いてきた。それによると、「海藻がらみのシャローで、外灯がある波止の外向き」とのことだ。ぜひ、この春はメバルのプラッギングに挑戦してほしい！

▼問い合わせ　ルアー1BAN☎06（6346）1000番。

今回ルアーを選んでくれた越智さんと、充実した品揃えのルアー1BANのプラグコーナー

右からS.P.M75
オルガリップレス50
リッジ35F、リッジ35S

メバルの活性はこれから上昇

港内は型が小さいのかプラグには乗らず

ルアーカラーが釣果を左右することも